

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		公衆衛生学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎 901教室
担 当 教 員		上藤 裕里加	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》							
公衆衛生とは地域社会の組織的な努力を通じて疾病を予防し、寿命を延ばし、健康と活力を増進するための科学と技術である。近年の社会制度と公衆衛生の役割を理解し、それらの変化が健康に与える影響と諸制度を学習する。							
《成績評価の方法と基準》							
筆記試験(100%)							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
教科書は特に使用しない 参考図書については、授業内でその都度、紹介する							
《授業外における学習方法》							
授業内容を復習し理解すること							
《履修に当たっての留意点》							
授業内容を復習し、理解したうえで次の授業に臨むこと							
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国の責務と公衆衛生の領域と活動の特徴と、健康の成立要因と予防の概念について理解し説明できる		配布資料	配布資料内容を復習し、要点をまとめること	
		各コマにおける授業予定	公衆衛生の定義・健康の概念と定義				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの特徴と概念を理解し説明できる		配布資料	配布資料内容を復習し、要点をまとめること	
		各コマにおける授業予定	プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康の多要因、集団の健康被害の理解、集団検診について説明できる		配布資料	配布資料内容を復習し、要点をまとめること	
		各コマにおける授業予定	健康と環境				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	疫学的因果関係、臨床疫学とエビデンスについて理解し、人口問題、人口動態統計、健康状態と受領状況について説明できる		配布資料	配布資料内容を復習し、要点をまとめること	
		各コマにおける授業予定	疫学的方法・健康の指標				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症の定義と成立要因、種類、流行の動向について理解し、病原体対策、検疫、消毒・滅菌について説明できる		配布資料	配布資料内容を復習し、要点をまとめること	
		各コマにおける授業予定	感染症の予防Ⅰ				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染経路対策、感受性対策、感染発生动向調査について説明できる	配布資料	配布資料内容を復習し、要点をまとめること
		各コマにおける授業予定	感染症の予防Ⅱ		
第 7 回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活習慣病の概念と現状、3大死因と成人病について理解し、中高年者に多い疾病の現状と予防対策について説明できる	配布資料	配布資料内容を復習し、要点をまとめること
		各コマにおける授業予定	生活習慣病の予防と健康管理Ⅰ		
第 8 回	講義形式	授業を通じての到達目標	老人保健保健法と事業、高齢者医療確保法やその他の保険制度を理解し説明できる	配布資料	配布資料内容を復習し、要点をまとめること
		各コマにおける授業予定	各種保健制度		